

特別企画展

# 大阪町めぐり 喜連

現在の喜連の街並み

畳5枚サイズ(約5m×1.8m)の巨大村絵図!



喜連村大絵図  
文化13年(1816) 個人蔵



愛称「喜連くん」で親しまれています

伝 善法寺出土鬼瓦  
室町時代 個人蔵

令和4年(2022年)

1月26日水 ▶ 3月21日月・祝

火曜日休館

開館時間：午前9時30分～午後5時 ※入館は閉館30分前まで

休館日：火曜日

観覧料：常設展観覧料でご覧になれます。

大人 600円(540円) / 高校生・大学生 400円(360円)

※( )内は20名以上の団体料金

※中学生以下、大阪市内在住の65歳以上の方(要証明証提示)、障がい者手帳などをお持ちの方(介護者1名を含む)は無料

主催：大阪歴史博物館、喜連村史の会

会場：大阪歴史博物館 6階 特別展示室

アクセス：OsakaMetro谷町線・中央線「谷町四丁目」駅②号・⑨号出口

大阪シティバス「馬場町」バス停前



大阪歴史博物館

Osaka Museum of History

〒540-0008 大阪市中央区大手前 4-1-32

電話 06-6946-5728 FAX06-6946-2662

http://www.mus-his.city.osaka.jp/

特別企画展

# 大阪町めぐり

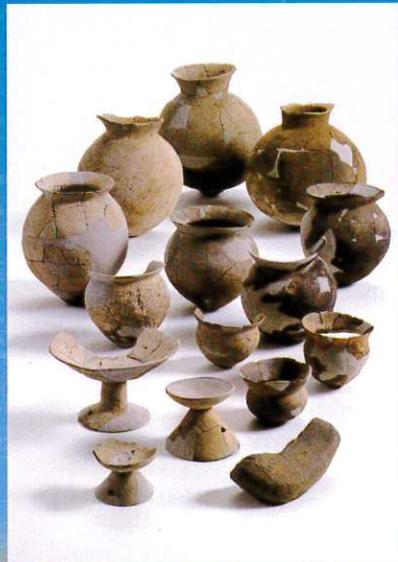
## 喜連

現在、大阪市平野区に所在する「喜連」は、近世には大坂三郷周辺の村落で、古代以前から個性豊かな歴史を歩んできた地域です。

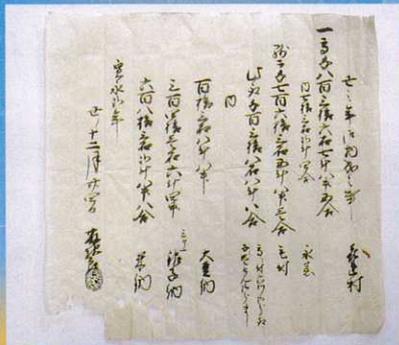
「喜連」の名は、「万葉集」にあらわれる「伎人(くれひと)郷」に由来すると言われ、渡来人も行き交う要地でした。中世にはしばしば戦乱の舞台となり、防御のための環濠が設けられたと伝えられます。また、この地域には、中世以前からの由緒を伝える寺社が多いことも特徴です。近世になると、一つだった村から三つの村が成立します。幕府領と藩領に分かれることになった三か村は、異なる支配のもとで共通する地域の課題に対応していきました。本展では、周辺での発掘資料や地域に伝えられた文化財等を通じて、特徴ある地域の歴史に迫ります。



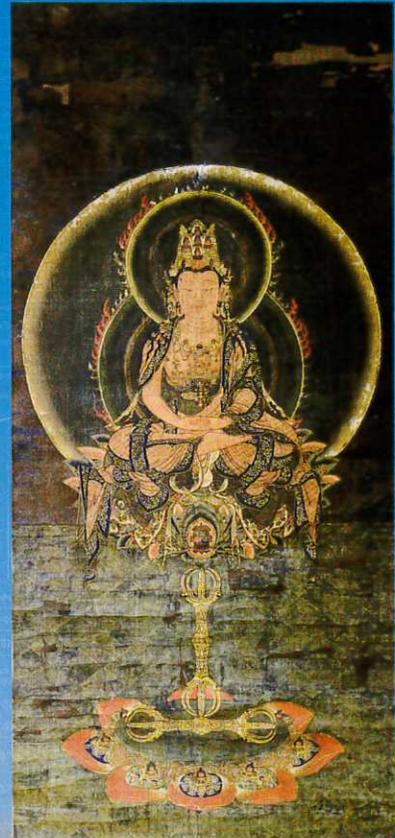
喜連東遺跡の中世墳墓出土品  
平安時代後期～室町時代  
大阪市教育委員会蔵 大阪市文化財協会保管  
大阪市指定文化財



喜連西遺跡の方形周溝墓出土資料  
弥生時代終末期～古墳時代初頭  
大阪市教育委員会蔵 大阪市文化財協会保管



喜連村年貢割付状  
寛永2年(1625) 個人蔵



絹本着色紅顔梨(くはり)阿弥陀如来画像  
鎌倉時代末～室町時代初期(14世紀)  
法明寺蔵  
大阪市指定文化財  
【展示期間：1月26日～2月21日】

## 展示構成

プロローグ 「喜連」というところ

1. 「喜連村」以前 — 古代・中世の喜連地域—
2. 「喜連三か村」 — 近世の喜連村—
3. 喜連の寺社

エピローグ 近現代の喜連村

## 関連行事

学芸員によるスライドトーク

- 日時 ①2月5日(土) ②3月6日(日) いずれも午後2時から30分程度
- 講師 豆谷 浩之(当館学芸員)
- 会場 大阪歴史博物館 4階 講堂
- 定員 各回100名(当日先着順)
- 参加費 無料(ただし、常設展の観覧券もしくは半券をお持ちの方のみ)
- 内容 展示資料を投影しながら担当学芸員が展示の紹介をします。



電車・バスでお越しの方

Osaka Metro谷町線・中央線「谷町四丁目」駅②・③号出口  
大阪シティバス「馬場町」バス停前